

# 工事監理状況報告書 兼 中間検査チェックシート

共通 NO-1

年 月 日

船橋市建築主事 あて

工事監理者 住 所 TEL  
 事務所名 登録第 号  
 氏 名  
 資 格 一級 ・ 二級 ・ 木造 建築士  
 登録第 号

下記の建築物は建築基準法並びにこれに基づく命令及び条例の規定に適合して施工され、構造耐力上安全であることを確認しましたので報告いたします。

建物概要	1	建築確認番号	第 号
		建築確認年月日	年 月 日
	2	建築主住所	
		建築主氏名	
	3	工事施工者	登録 年 知事・大臣 一般・特定 番号
		管理者氏名	TEL
	4	工事場所	
	5	構造	
	6	用途	
	7	工事種別	
8	階数		
9	着工年月日		
10	工事の工程		

<p>工事監理の状況</p>								
<p>検査結果</p>	<p>指摘事項</p>	<p>確認方法</p>						<p>チェック欄</p>
		<p>計画 変更</p>	<p>12条 5項</p>	<p>検討 書</p>	<p>写真</p>	<p>口頭</p>	<p>その他</p>	
<p>検査年月日</p>		<p>検査員 職氏名</p>						

※ 太線枠内は記入しないで下さい

# 集団規定

検査項目	内 容	確認日付		検査方法 A:目視検査 B:計測検査 C:監理者報告	結 果			
		施工者	監理者		一次判定	判定月日	二次判定	判定月日
①敷地の安全性 (法19条)	1. がけ又は擁壁の安全			A・B・C				
	2. 敷地の高低差			A・B・C				
②敷地と道路の 関係 (法42条, 43 条) 県条例等	1. 前面道路の幅員			A・B・C				
	2. 接道長さ			A・B・C				
	3. 敷地内通路			A・B・C				
③敷地面積 容積率 建ぺい率 (法52条, 53 条54条の2)	1. 敷地形状の確認			A・B・C				
	2. 確認申請図面の平面図との照合			A・B・C				
④外壁後退等 (法54条)	1. 建物配置の確認			A・B・C				
⑤道路斜線等 (法55条, 56 条, 58条)	1. 各部分の高さの確認 (立面図等との照合)			A・B・C				
	2. 緩和規定適用の場合の後退部分 の外構制限及び前面道路との高 低差等			A・B・C				
⑥確認表示板の 設置(法89 条)	1. 確認表示板の設置及び記載内容 の確認			A				
⑦工事現場の危 害の防止	政令第136条の2の7～ 第136条の8 仮囲い、防護ネット等			A				
⑧その他								

※ 太線枠内は記入しないで下さい

単体規定（構造規定）

（鉄骨造） NO-2

検査項目	内 容	確認日付		検査方法 A:目視検査 B:計測検査 C:監理者報告	結 果				
		施 工 者	監 理 者		一次 判定	判定 月日	二次 判定	判定 月日	
①加工工場における品質確認	1 加工工場の選定	建築物の規模等の条件に見合った類であること		C					
	2 材料の品質確認	鋼材、高力ボルトセット、溶接材料の規格		C					
	3 組立精度の確認	開先角度、ルート面、ルートギャップ、食い違い等の精度		C					
	4 製品検査Ⅰ（部材の寸法精度測定）	部材の寸法精度		C					
	5 高力ボルト接合部の処理	高力ボルト接合部の摩擦接合面の処理、ボルト孔の径・ピッチ等		C					
	6 製品検査Ⅱ（溶接接合部の品質）	溶接方法外観検査及び超音波探傷試験検査結果		C					
②現場検査	1 全体	1)加工工場の類別	表示板による加工工場の類別グレード確認		A				
		2)部材の配置	柱、はり、ブレース、床版等の配置		A・C				
		3)部材の寸法・形状	柱、はり、ブレース、床版等の寸法・形状		A・B・C				
		4)建て方精度	架構の建て方精度		A・C				
	2 基礎地盤	1)支持地盤	根伐り底の確認、地耐力等		C				
		2)基礎形状	a.基礎の種類、杭の工法、長さ、径、位置、杭頭補強、偏心等			C			
			b.ベース寸法、主筋の径、本数、位置、偏心による補強等			C			
		3)地中ばり	断面寸法、主筋径、本数、位置、定着方法、継手（位置、長さ）、あばら筋の位置、径、間隔、形状、偏心による補強等		C				
	4)立ち上り	a 断面寸法、主筋径、本数、定着方法、帯筋径、間隔、形状等		C					
	3 溶接接合部	1)工場溶接部分の外観・形状	a.溶接継ぎ目の種類（突合せ溶接・すみ肉溶接・まわし溶接）			C			
			b.溶接継ぎ目の食い違い			C			
			c.アンダーカット等の断面欠損			C			
d.われ					C				
e.その他の溶接部の外観・形状					C				
f.スカラップ、エンドタブ、裏あて金物※					C				
2)現場溶接部分組立精度確認		開先角度、ルート面、ルートギャップ、食い違い等の精度※		C					
3)現場溶接部分の製品検査	外観検査及び超音波探傷試験検査結果		C						

4) 現場溶接部分の外観・形状	a. 現場溶接部の部位			A・C				
	b. 溶接継ぎ目の種類 (突合せ溶接・すみ肉溶接ーまわし溶接)			A・C				
	c. 溶接継ぎ目の食い違い			C				
	d. アンダーカット 等の断面欠損			C				
	e. われ			C				
	f. その他の溶接部の外観・形状※			C				
	g. 養生方法			C				
4 ボルト接合部	1)トルニア型	a. 現場受け入れ検査 (トルク 係数値確認・導入張力確認試験)			C			
		b. ボルトの径、本数、スライス数、間隔縁あき、端あき			A・C			
		c. 締め付け状態の確認 (肌すき・ピッテール破断・マーキングの状態)、摩擦面の処理			A・C			
	2)JIS型六角	a. 締め付け機器の調整、現場受け入れ検査 (導入張力確認試験)			C			
		b. ボルトの径、本数、スライス数、間隔縁あき、端あき			A・C			
		c. 締め付け状態の確認 (肌すきの有無・マーキングの状態)、摩擦面の処理			A・C			
3)中ボルト	ボルト径、本数、ゆるみ止め			A・C				
5 プレース	a. プレースの形式・板厚・材質・補剛材等			A・B・C				
	b. ボルト径、本数、たわみのチェック			A・C				
6 柱脚接合部	a. 柱脚接合工法の良否 (認定工法→ )			A・C				
	b. ベースプレート の材質・形状・板厚			A・C				
	c. アンカーボルト の材質・径・本数及び配置、保持・埋め込み方法、締め付け状態 (余長)			A・C				
	d. スタッドボルト の径・本数・配置			C				
7 床スラブ	a. 床構造の形式			A・C				
	b. 接合部の施工状況			A・C				
③不具合の処置								
④添付図書								
合否判定	一次判定	合格 不合格		二次判定	合格 不合格			

※ 太線内は記入しないで下さい